

前画面へ戻る

科目名	映画と社会
科目名(英訳)	Film and Society
科目ナンバー	HI330C01
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	小川 順子
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HI
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	コミュニケーション学科専門教育科目の中の文化情報デザイン応用科目のうちの社会情報科目である。社会情報科目は、社会と情報の関係を把握するための科目群であり、社会の諸集団・諸制度と情報流通の関係やその課題を探究し、それを解決するための意欲をもつことを目的とする。本講義は、映画の背景と連関する社会事象などについての基礎知識をあわせて理解することで、映画に必須の「映像」や「文化」について共有できる知識を獲得することにより、映画に反映された社会の様々な問題を客観的に読み解く力を養成するための科目である。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力

授業の主旨 (概要)	19世紀末に発明された映画は、単に画(絵)を映すだけではなく、動く画を記録すると同時に、上映されるものであった。20世紀に入ると、最大のメディアとして君臨しはじめ、世界中に拡まっていった。媒体としての映像が日常的になった現在でも、映画は世界中でいろいろな目的のもとに利用されている。しばしば映画は社会を映す鏡に喩えられる。映画を研究することは、社会背景や、世界で起こったさまざまな運動を知ることにつながる。なぜなら、映画は決して単独で存在するのではなく、映画を取り巻くあらゆる環境と密接に関わっているからだ。そこで、本授業では、映画を通して文化的事象を理解し、様々な角度から映画を読み解いていくことを目的とする。		
具体的 達成目標	具体的には、日本映画における登場人物がどのように表象されてきたのかを、とりわけジェンダーとセクシュアリティという概念を理解したうえで、考察することを通じてクリティカルな思考力を身につける。映画作品を通じて、時代背景と関連付けながら、登場人物の描かれ方から社会的・文化的価値観を分析する。私たちが無意識に前提としてしまう(当たり前と思いこんでしまう)価値観などを見つめなおす力を養い、課題設定力を身につけることができる。		
	1	【内容】	以下は、あくまでも予定であり、受講者数や授業日の日程などによって講義内容が多少変更される場合があることをご了承願いたい。 イントロダクション、映画作品1
		【授業外学修】	【授業外学修:事前】授業の主旨と具体的達成目標・授業の計画と方法・成績の評価方法と評価基準・参考文献等をシラバスで確認しておく。 【授業外学修:事後】イントロダクションの内容を振り返り、単位取得要件を確認する。
	2	【内容】	2. 映画作品1
		【授業外学修】	【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。
	3	【内容】	3. 映画作品1
		【授業外学修】	【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、レポートを作成し、次週提出すること。
	4	【内容】	4. 映画作品2
		【授業外学修】	【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。

授業計画	5	【内容】 5. 映画作品2	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
	6	【内容】 6. 映画作品2	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、レポートを作成し、次週提出すること。	
	7	【内容】 7. 映画作品3	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
	8	【内容】 8. 映画作品3	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
	9	【内容】 9. 映画作品3	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、レポートを作成し、次週提出すること。	
	10	【内容】 10. 映画作品4	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
	11	【内容】 11. 映画作品4	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
	12	【内容】 12. 映画作品4	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、レポートを作成し、次週提出すること。	
授業方法	13	【内容】 13. 映画作品5	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
成績の評価方法	14	【内容】 14. 映画作品5	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】先週指定した映画を観てくること。 【授業外学修:事後】講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、ジェンダーやセクシュアリティの観点からノートに考察をまとめること。	
成績の評価基準	15	【内容】 15. 映画作品5、総括(理解度確認クイズ)	
		【授業外学習】 【授業外学修:事前】授業全体を通じて内容を復習し、クイズに備える。 【授業外学修:事後】クイズの答えを自分で確認する。講義内容を踏まえ指定された映画と比較して、レポートを作成し、次週提出すること。	
教科書			

講義。
授業内で取り上げる映画として、『赤線地帯』(1956、監督:溝口健二)、『日本侠客伝』(1964、監督:マキノ雅弘)、『緋牡丹博徒』(1968、監督:山下耕作)、『薔薇の葬列』(1969、監督:松本俊夫)、『ハッシュ』(2001 監督:橋口亮輔)、『メゾン・ド・ヒミコ』(2005、監督:大童一心)、『彼らが本気で編むときは、』(2017、監督:荻上直子)などを中心に、ジェンダーやセクシュアリティが表象されている作品を数本扱う予定である。
レポート課題の内容に関しては講義内で要点を解説する。

自らの無意識の前提を見直す力を判断するレポート課題や授業に取り組む姿勢と、授業内容を理解したかを判断する理解度確認クイズを合わせて85%、平常点を15%とし、合わせて60%以上を合格とする。

レポート課題や授業に取り組む姿勢、10回以上の出席、理解度確認クイズを基準とし、総合的に判断する。
上記に記載した達成目標の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%に以上でC評価とする。

参考文献	
備考	・参考文献・資料は随時紹介、あるいは指定。 ・授業で扱う映画はすべてソフト化されているとは限らない。またソフト化されていても過去の日本映画作品を置いているレンタルショップはあまり多くないことを注意されたい。授業を休んだために観ることができなかったことを理由に、内容が理解できないという弁解は、一切受け付けない。 ・レポートには必ず参考資料を明記すること。指定された課題について書くこと。感想文は評価しない。また、剽窃を行った場合は不合格とする。
関連 ホーム ページ	
メール アドレス	小川 順子 swt5782@fsc.chubu.ac.jp
オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)